

第10週の発生動向(2007/3/5~2007/3/11)

1. 咽頭結膜熱については、八戸、むつ保健所管内において、第50週から**警報**が継続しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、弘前保健所で新たに**警報**が、東地方+青森市保健所管内では第5週から、むつ保健所管内では、第49週から**警報**が継続しています。
3. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内において、第3週から**警報**が継続しています。
4. 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で新たに**注意報**が出されました。
5. 感染性胃腸炎については、横ばい状態ですが、今後も引き続き注意が必要です。
6. インフルエンザについては、報告数1294人(先週比775人増)と急激に増加しました。詳細については、[インフルエンザ情報](#)に掲載しています。

第10週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
(72) インフルエンザ	509	36.36	130	8.67	143	10.21	35	5.00	435	48.33	42	7.00	1,294	19.91	775	8	4.00	501	41.75
(59) RSウイルス感染症	1	0.11	7	0.78							7	1.75	15	0.36	4			1	0.13
(60) 咽頭結膜熱					13	1.44				5	0.83	9	2.25	27	0.64	-16			
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	3.22	30	3.33	9	1.00				19	3.17	14	3.50	101	2.40	-22		29	3.63
(62) 感染性胃腸炎	57	6.33	26	2.89	13	1.44	9	1.80	16	2.67	34	8.50	155	3.69	0	4	4.00	53	6.63
(63) 水痘	22	2.44	9	1.00	9	1.00	1	0.20	19	3.17	3	0.75	63	1.50	16		22	2.75	
(64) 手足口病															-2				
(65) 伝染性紅斑	3	0.33	1	0.11	3	0.33	5	1.00	6	1.00	22	5.50	40	0.95	2			3	0.38
(66) 突発性発しん	4	0.44	6	0.67	3	0.33	1	0.20	6	1.00	1	0.25	21	0.50	3	1	1.00	3	0.38
(67) 百日咳															-1				
(68) 風しん															0				
(69) ヘルパンギーナ	2	0.22											2	0.05	-2			2	0.25
(70) 麻しん(成人を除く)															0				
(71) 流行性耳下腺炎	29	3.22	10	1.11	14	1.56			14	2.33	6	1.50	73	1.74	5	4	4.00	25	3.13
(73) 急性出血性結膜炎															0				
(74) 流行性角結膜炎					1	0.50	1	1.00	1	0.50			3	0.27	-2				
(82) マイコプラズマ肺炎					6	6.00					3	3.00	9	1.50	-2				

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	12	8	4	2	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (19年計には、今回届出された人数を含む)

(49) クロイツフェルト・ヤコブ病(五類全数把握疾患) 青森市保健所管内: 1人 (19年計:1人)

感染症の窓

つつが虫病

総まとめ

表1 主な症状(平成18年まとめ)

割合% (人)
発熱 100(28)
刺し口 93(26)
発疹 82(23)
頭痛 29(8)
リンパ節腫脹 18(5)
肺炎 7(2)
肝障害 7(2)
DIC 4(1)
食欲不振 4(1)

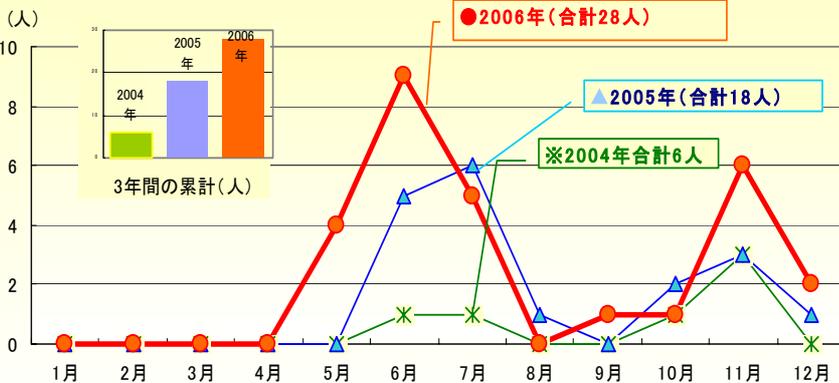


図1 過去3年間における月別報告数推移(青森県)

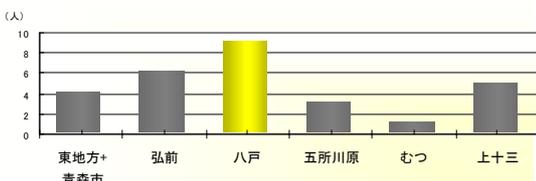


図2 保健所別報告数(平成18年)

過去3年間の本疾患報告数は、昨年度が最も多く28人でした(図1)。保健所管内別では、八戸保健所管内が最も多かったです(図2)。平成18年に報告された主な症状では、発熱が全症例で、刺し口や発疹は8割以上の患者に見られました(表1)。